知って得する
子育て小事典

第４号

光の泉幼稚園
園長高島哲男

Q．子供の嘘を直したいのですが。何と言って聞かせればいいでしょうか。

うそ

「うそつきは泥棒の始まり」と言ったり、「うそばかりついていると狼少年のように誰も信じてくれなくなるよ」と言ったりして、うそをやめさせようとします。

親にとって子供の嘘はとても気になることだと思います。道徳的に考えたり、社会性の問題としてとらえると、親としてはとても気になることだと思います。嘘に限らず、子供の指しゃぶりやチックなどのクセについても同じことが言えますが、何度言っても治らない場合に親は心配になってきます。

嘘について考える時、次のような説明が分かりやすいのではないかと思いますので紹介したいと思います。

体の病気と同じように考えてみると分かりやすいでしょう。風邪を引いたら病院へ行って薬を飲むと風邪が治った。これは病気に薬が効いたからで、反対に風邪が治らないときは薬を替えたり病院を替えたりします。

クセや嘘は病気と違って薬では治すことが出来ませんが子供に対する接し方を変えることで解決することが出来ます。何度言っても直らないというのは、接し方が違うからで、他の接し方に替えてみる必要があります。

目に見えている嘘やクセ等気になる行動は子供の問題行動そのものですから、子供が問題を抱えていることを発見する上では意味がありますが、発見できたからといって問題の解決にはなりません。大切なことは、何故そうするのかを考えてみることです。その背景に問題解決のかぎが隠されています。

子供の嘘にも2種類あって、成長の途上でつく子供独特の嘘と、親が心配するような問題行動としての嘘があります。前者を除いて考えると、本来、子供は嘘を言わなかったはずです。大人が子供に教えていったものです。そこから出発して、嘘をつく子の事を考えていかなければならないと思います。

クセと同じ様に嘘は表面に現れてくる二次的問題です。その問題を起こさせる一次的な問題が内面に潜んでいます。一次的問題が表面に現れるならば、容易に解決できますが、そうでないところが厄介です。

内面の一次的問題に焦点を当てずに表面上の問題だけを追いかけても本質の問題は解決されません。指しゃぶりを止めさせたら円形脱毛症になってしまった。そこで、指しゃぶりを復活させたら円形脱毛症が治ったということにもなりかねません。

子供の嘘を治すには、子供の心の内面を汲み取ってあげなければなりませんし、1回で答えが見つかる事は稀です。その背景はそれぞれ違うわけですから、手当ての仕方は全部違うということになります。私の知り合いの臨床診断士は自分の臨床例で、47の嘘の原因があったといっています。すなわち、47の手当てが必要になると言う事です。

そして、さらに大事な事は、「嘘を直すのは本人自身である」ことです。子供の心を汲み取るためには、**子供の本音が素直に出せる安心の出来る環境を作ってあげることが肝要です。**

対象を中学生くらいまで広げ、子供が嘘をつく主な原因を挙げてみましょう。

1. 空想が膨らんで現実と混同してしまう。
2. 願望が大きくなって現実と混同
3. 話をよく理解していないため
4. 表現力〔語彙〕不足のためうまく意思を伝えられない。
5. 遊び
6. ごまかし
7. 自分をかばうため
8. 原因や理由を問い詰められる
9. 自分に注目してもらいたい
10. 本当の自分を理解してもらえない苛立ち
11. いじめられた子からの口止め
12. 仲間をかばうため
13. 親の期待に応えられなかった
14. 人をだます目的
15. ねたみや復讐

5番目まではたわいもない嘘で成長途上にはよくある事ですが、6番目以降についてはよく子供の心を汲み取ってピントのあった対応が必要です。

例えば自分をかばうために嘘をついた子を怒るとします。子供にしてみると怒られるから嘘をついて自分をかばっているのですから、ますます自分をかばうようにしなければならなくなり悪循環となります。子供を怒っている時、本当に怒らなければならないことかよく考えてみましょう。怒らないで親の願いを聞いてもらえるような親子関係の構築を始めることだと思います。お母さんのかかわり方の問題もありますが、子供にとっての課題、すなわち自分の思いや考えを言葉で表現する能力が育っていないのだとしたらそこから始めることだと思います。